クラス：	# 聴く・話すための発音Ⅰ ## Pronunciation for Listening and Speaking ## - よりスムーズなコミュニケーションのために - ## EPrM-62AH
曜日：	**Saturday (隔週) ハイブリッド授業**
時間	**14:30-16:20**
レベル：	**中級**
講師：	**Ms.大石美幸**
目的：	英語が聞き取れない、話せない理由の一つは、「英語の音体系」、簡単にいうと、「英語の音の特徴と仕組み」を知らないことにあると思います。「日本語の音体系」で英語を聴き話そうとしても限界があり、この違いに気づき乗り越えることで、発音のみならず、聞き取り力もアップすると考えます。 本講座は「発音のための発音」を超え、よりスムーズなコミュニケーションを目指して、「英語の音の特徴と仕組み」を、四つの視点、a）個々の音（音素）、b）語強勢、c）文強勢、d）イントネーションから学んでいきます。 これら様々な側面から「英語の音」を学び、より「英語らしい音、リズム、メロディー」を身につけることを目的とします。「自分で英語らしい音を発する」ようになると、自信もつき、また聞き取り力も上がり、結果コミュニケーションがより円滑になります。大切なことは、「ネイティブスピーカーのように発音すること」ではなく、「一回で通じる相互意思疎通」と、それによって生まれる「自信」です。
授業内容：	上記四視点で構成されたテキストに沿い、英語の音の仕組みを学び、発音練習で身に着けていきます。 a）英語は日本語と違い、音と綴りが一致しません。 そのことを理解したうえで、全母音、全子音の各音（音素/phonemes）を学び、身につけます。 b）音節（syllables）、強母音(strong vowels)と弱母音(weak vowels)の概念を理解し、個々の音が語になったときの変化を学び、身につけます。 c）個々の音が「句/phrase」や「文/sentence」になるとどう変化するかを学び、文内の句の区切り方とつなげ方、英語らしい強弱のリズム、品詞による強弱音分別の仕組みを学びます。 d）英語会話に用いられる抑揚（intonation)のパターンとそれらが担うニュアンスの違いを理解し、目的に合った表現ができるよう目指します。 単調になりがちな発音練習ではなく、実際の会話に登場する語彙・表現で練習します。発音学習には欠かせない「音素記号」も同時に学んでいきます。
教材：	***English Pronunciation in Use, Elementary ;*** **Cambridge University Press** （'Elementary' とありますが、中級以上の内容です。） 秋の続きから始めます。